

2009~2010 JEKS  
第4回幹事会レポート

と き：2009年7月24日（土）14:00

ところ：昭和音楽大学北校舎3F会議室

出席者：柳田孝義、下八川共祐、吉田泰輔、仁田悦朗、阿方 俊、生頼俊秀

欠席者：出田敬三、初山正博、野口剛夫、森松慶子、海津幸子

協議題目

1. 第6回大会実行委員

高田 俊治／昭和音楽大学（委員長）

森 直紀／昭和音楽大学

森松 慶子／音楽ライター、電子オルガン指導・演奏

小倉隆一郎／文教大学

富田 英也／白鷗大学

阿方 俊／事務局長

生頼 俊秀／事務局補佐

- \* 協議題目にありました安藤恭子先生（鶯谷高等学校）が一身上の都合で辞退されました。

2. 第6回大会関連事項

- ・ 大会スケジュール案添付
- ・ 基調講演（シュテファン・メーラー）の①謝礼、②通訳（野口剛夫）、③楽器の使用に関して、取次ぎをしている野口先生と確認をする。
- ・ 第5回幹事会は、大会前日の10月9日 18:00、昭和音楽大学南校舎で開催。
- \* 当日、15:00からテアトロ・ジーリオで公演される昭和音楽大学学園オペラドニゼッティ作曲オペラ“ピア・デ・トロメイ（Pia de'Tolomei）にご希望者を招待いたします。
- ・ 前日宿泊される方は、新百合ヶ丘駅前のホテルモリノ（044-953-5111）が近くで便利です。
- \* 学会特別価格 8,500円 朝食はプラス1,000円で交渉してあります。
- ・ アルバイト（受付、会場・機材操作など）は、事務局に一任する。

3. ホームページ英文関連事項

- ・ 英文化の1期として、①ごあいさつ ②お問い合わせ ③Voice of JEKSをマイケル・ハイセン先生（前文教大学学長、アメリカ人）にお願いすることになりました。

- ・ 英文化に伴う学会英文名称について、ハイセン案、吉田案、高萩案が検討され、幹事会としては、**The Japan Society for Electronic Keyboard Music** 略称は **JSEKM** を提案していくことになりました。

#### 4. 論文進捗状況

査読終了後の動きが遅く、発刊は9月にずれ込む見込みとの現状報告がありました。このことも踏まえ、今後の編集および委員のあり方全般について、吉田先生から添付の「編集委員会規程・投稿規定改訂」案が提出され、総会に諮ることになりました。

#### 5. ニュースレター

- ・ 遅れていたニュースレターの発行を7月末日に幹事会で発表されましたが、関係者の体調や通常業務で8月中旬になる予定です。
- ・ 内容は、①大会スケジュール ②選挙 ③会費 ④会員情報 ⑤会員メールアドレスの確認ほか、です。

#### 6. 会費納入状況

会費納入状況が今年度は今までに比べて出足が悪く、ニュースレターなどでアピールしていくことになりました。まず幹事の方からお願いいたします。

#### 7. 第7回大会会場

- ・ 地方開催（浜松）まで含めて検討しましたが、結果として尚美ミュージックカレッジ専門学校を打診してみようということになっています。

#### 8. その他

情報として、イスメコンサートおよびローランドとヤマハの電子オルガンが共演するコンサートの案内がありました。

# 日本電子キーボード学会 第6回全国大会（案）

と き：2010年10月10日（日）10：30～19：30

ところ：昭和音楽大学南校舎（神奈川県川崎市麻生区南麻生1-11-1）

10：00	《受 付》 5Fエレベーター前ロビー		
10：30	ごあいさつ 下八川共祐（会場校） 柳田孝義（学会代表） 5F階段教室		
10：45	基調講演 「電子ピアノによるピアノ協奏曲からみえてくるもの」（仮題） シュテファン・メラー（ピアニスト・指揮者/ウィーン国立音大教授）		
11：15	総 会		
12：00	昼 食		
13：00	パネルディスカッション		
	Room-1 (3F)	Room-2 (3F)	
	“ハードからみた電子オルガン演奏の新たな側面 - II” ～演奏の現状に対する課題と提案～ パネリスト：和智正忠、三枝文夫、森下絹代 司会・進行：柴田 薫 書記：海津幸子	“M.L.授業のためのテキストを考える - II” ～伴奏づけや鍵盤楽器基礎技能などを中心に～ パネリスト：岡崎豊治、赤津裕子、脇山 純 司会・進行：森 直紀 記録：未定	
14：30	休 憩		
15：00	研究発表		
	Room-1 (3F)	Room-2 (3F)	Room-3 (3F)
	研究発表① 電子オルガンのレジストレーションと演奏の重要性 森下絹代	研究発表② 生涯教育における清見塾の活動と今後の課題 影山建樹・望月慎也	研究発表③ アメリカ・イーストマン音楽学校のM.L.教育分析 西山淑子
15：30	小休憩		
15：40	研究発表④ タイにおける電子オルガンの社会認知について 佐藤美千枝	研究発表⑤ アンサンブルにおける電子オルガンのピッチとエフェクト 森松慶子	研究発表⑥ 未定 M.L.関係者
	16：10	小休憩	
16：20	研究発表⑦ 電子オルガンアンサンブルの課題と今後 梅都優子	研究発表⑧ 電子オルガンの音源を活用した録音のメリットと問題点 小熊達弥	研究発表⑨ 福祉活動と電子キーボード～唱歌ボランティア講座～ 小澤真弓
	16：50	休 憩	
17：10	《研究コンサート》		
	電子オルガンと管打楽器によるハイブリッド・オーケストラの試み ・電子オルガン×打楽器 ムソルグスキー“展覧会の絵”より ・電子オルガン×管打楽器 ビゼー 組曲“アルルの女”より		
18：00	懇 親 会（1F学食）		